

令和7年度 安城市市民行動調査結果

I. 調査の概要

1. 調査目的

この調査は、第2次安城市環境基本計画改定のための基礎資料を得ることを目的として実施しました。

2. 調査対象

調査対象は、安城市全域の18歳以上の市民1,600人（無作為）としました。

3. 調査期間

郵送による配布を令和7年5月7日に行い、同年5月30日を期限として郵送またはWebにより回収しました。

4. 回収結果

回収結果を以下に示します。

	配布数	回収数	回収率
市民	1,600	623	38.9%

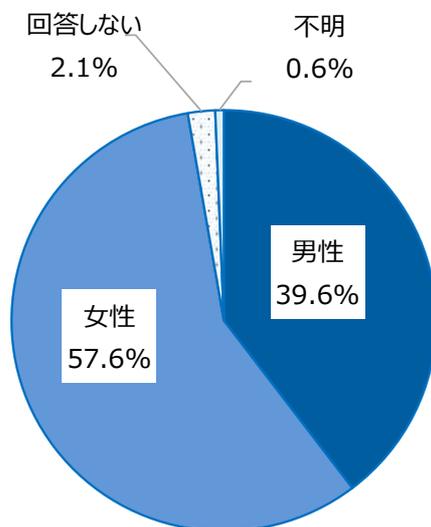
5. 報告書の見方

- パーセント表示のものについては、端数処理の関係で合計が100にならない場合もあります。
- 報告書の表、グラフ及び文章等で示した回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合があります。
- 「不明」は無回答及び無効回答を示します。
- 令和元年度にも同様の調査項目で市民行動調査を実施しており、その結果と比較しています。

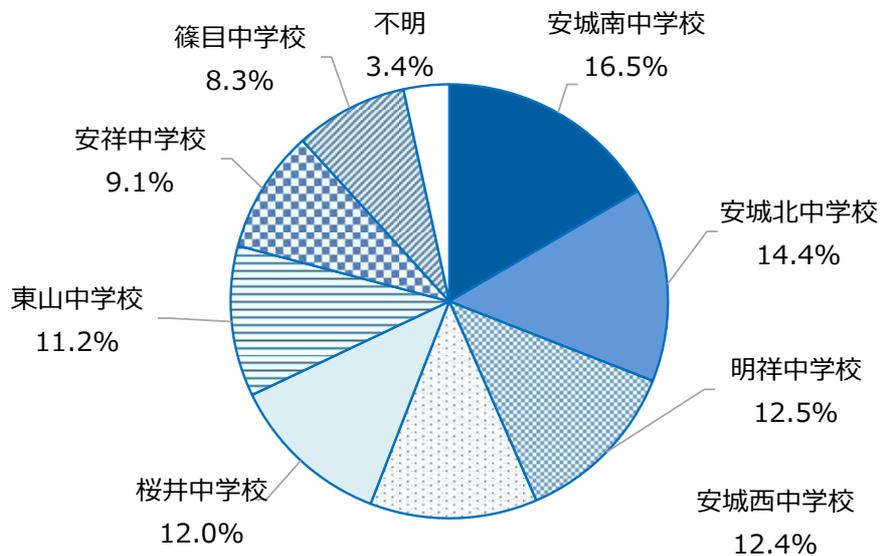
II. 集計結果

1. 回答者の属性

【性別】

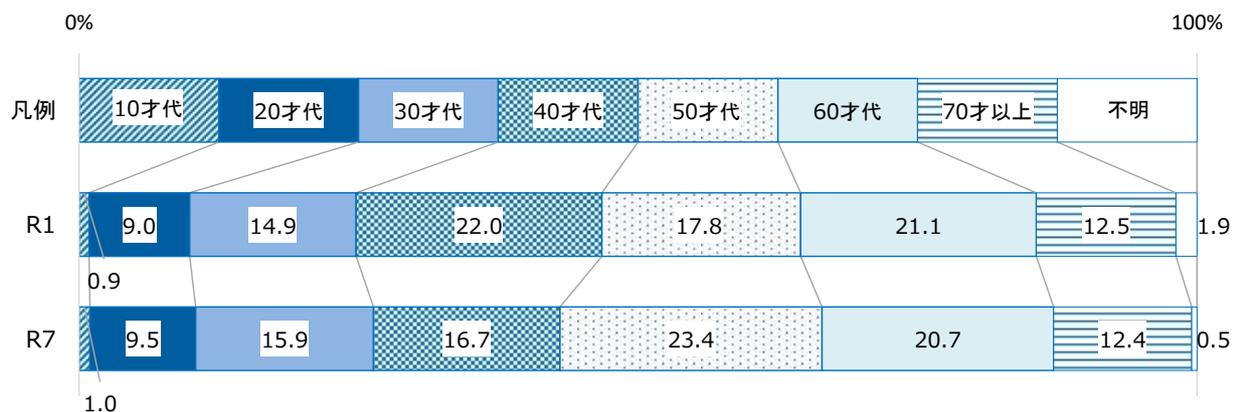


【居住地（中学校区別）】



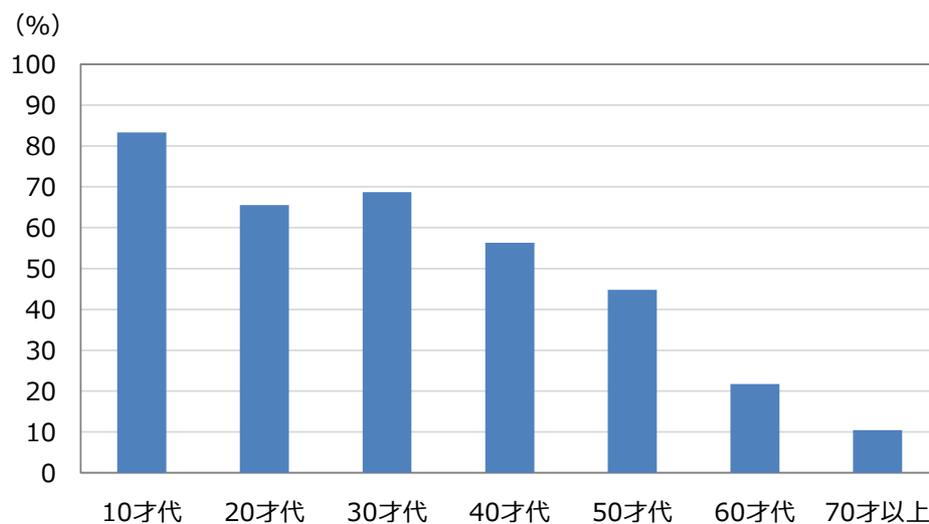
- ・性別では、女性の回答が多くなっています。
- ・居住地（中学校区別）では、安城南中学校が 16.5%で最も多く、次いで安城北中学校 14.4%となっています。

【年齢（令和元年度と令和7年度の比較）】



- ・令和7年度は、令和元年度と比べて50才代以下の割合がやや増加しています。今回からWeb回答を導入したことにより、Web利用が活発な10～50才代の回答割合が増えたと考えられます。

【年齢（令和7年度：Web回答）】



- ・10～50才代はWeb回答が多く、60才代以上は郵送回答が多い傾向があります。Web回答の割合は今後さらに高くなることが予想されます。

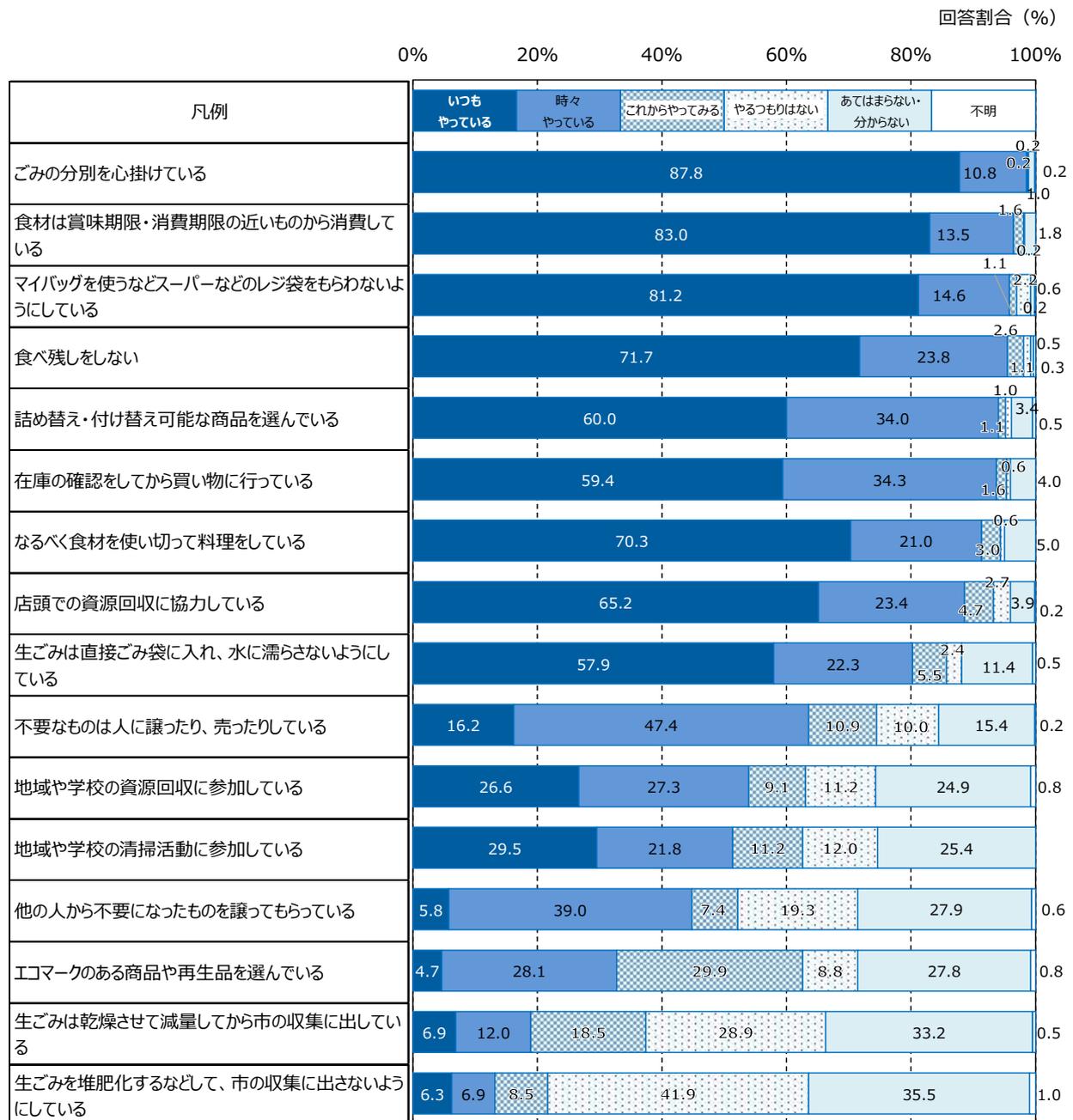
2. 【問1】集計結果

問1. 《日常生活について》

ご自宅での生活環境、スタイル等、日頃の生活について、それぞれ右の1～5の当てはまる番号に○をつけてください。(1.いつもやっている 2.時々やっている 3.これからやってみる 4.やるつもりはない 5.あてはまらない・分からない)

※家事を担当していない、運転免許がない等の理由であてはまる回答がない場合は、「5.あてはまらない」に○をつけてください。

(1) 買い物とごみについて



○ 施策『ごみの発生を抑制する』について

- ・「ごみの分別」や「マイバッグの使用」は80%以上が「いつもやっている」と回答しており、日常的な行動として定着しています。
- ・「賞味・消費期限の近いものから使う」や「食べ残しをしない」など、食品ロスを減らす取組も多くの方が行っています。
- ・「詰め替え・付け替え商品の利用」や「買い物前の在庫確認」も60%前後が「いつもやっている」と回答しており、ごみの発生抑制や無駄を減らす意識がうかがえます。
- ・「地域・学校の資源回収への参加」は、「いつもやっている」と回答した方が30%程度にとどまっている他、リユースに係る「不要になったものの譲渡・売買」も割合も低くなっています。協働の行動の項目が全体的に低い傾向にあり、協働の機会増加や啓発が課題です。
- ・「生ごみの堆肥化」や「生ごみの乾燥による減量」は、「いつもやっている」と回答した方が10%以下と低い割合にとどまっています。市民の認知度が低いこと、取組の手間や設備が必要なことが原因と考えられ、啓発と設備の支援が課題です。

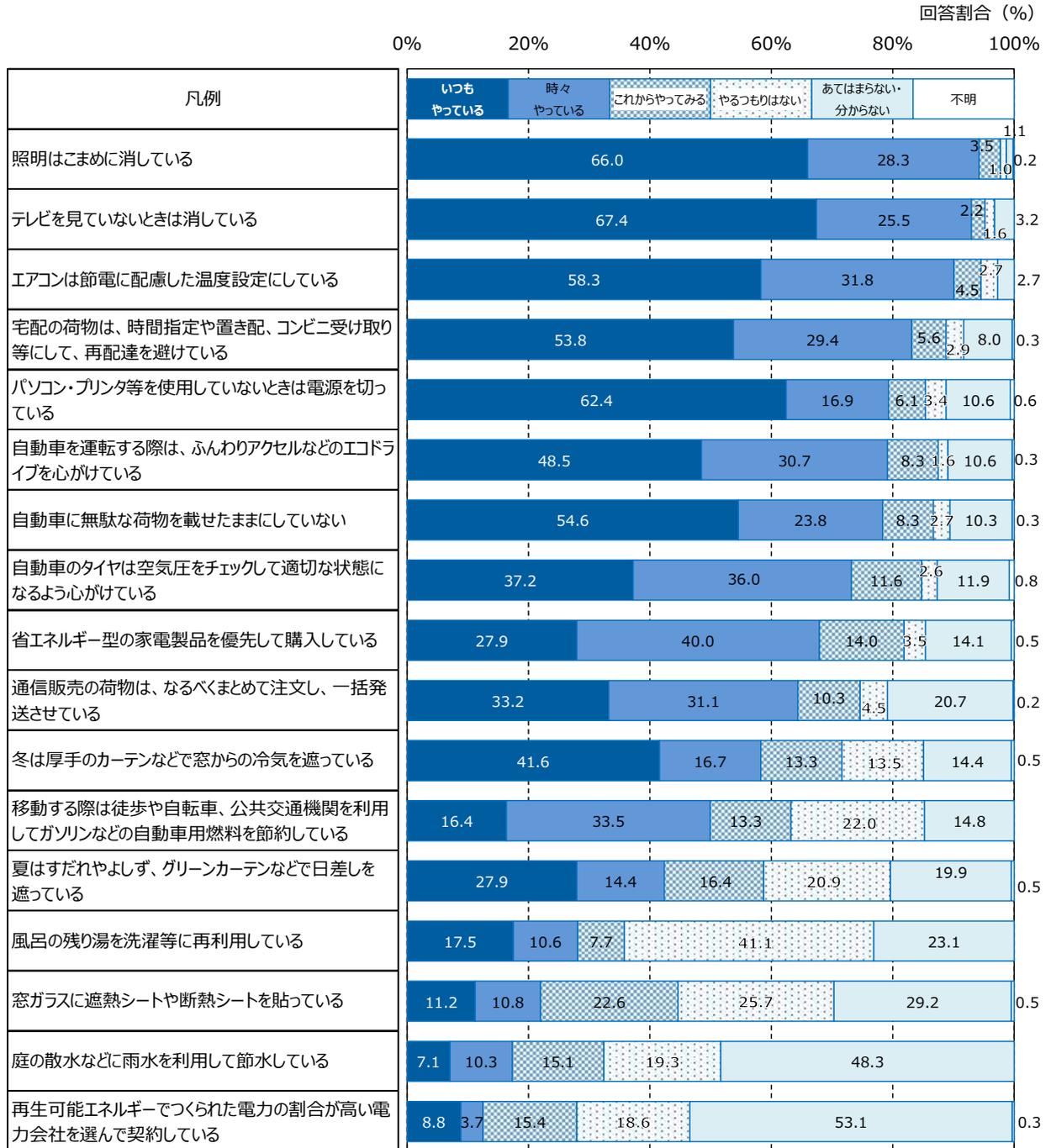
○ 施策『リサイクルを推進する』について

- ・「店頭での資源回収」は多くの方が取り組んでいます。
- ・「生ごみの堆肥化」、「地域や学校の資源回収への参加」、「エコマークのある商品・再生品の選択」をやっている人の割合は低く、リサイクルの啓発が課題です。

○ 施策『適正なごみ処理を行う』について

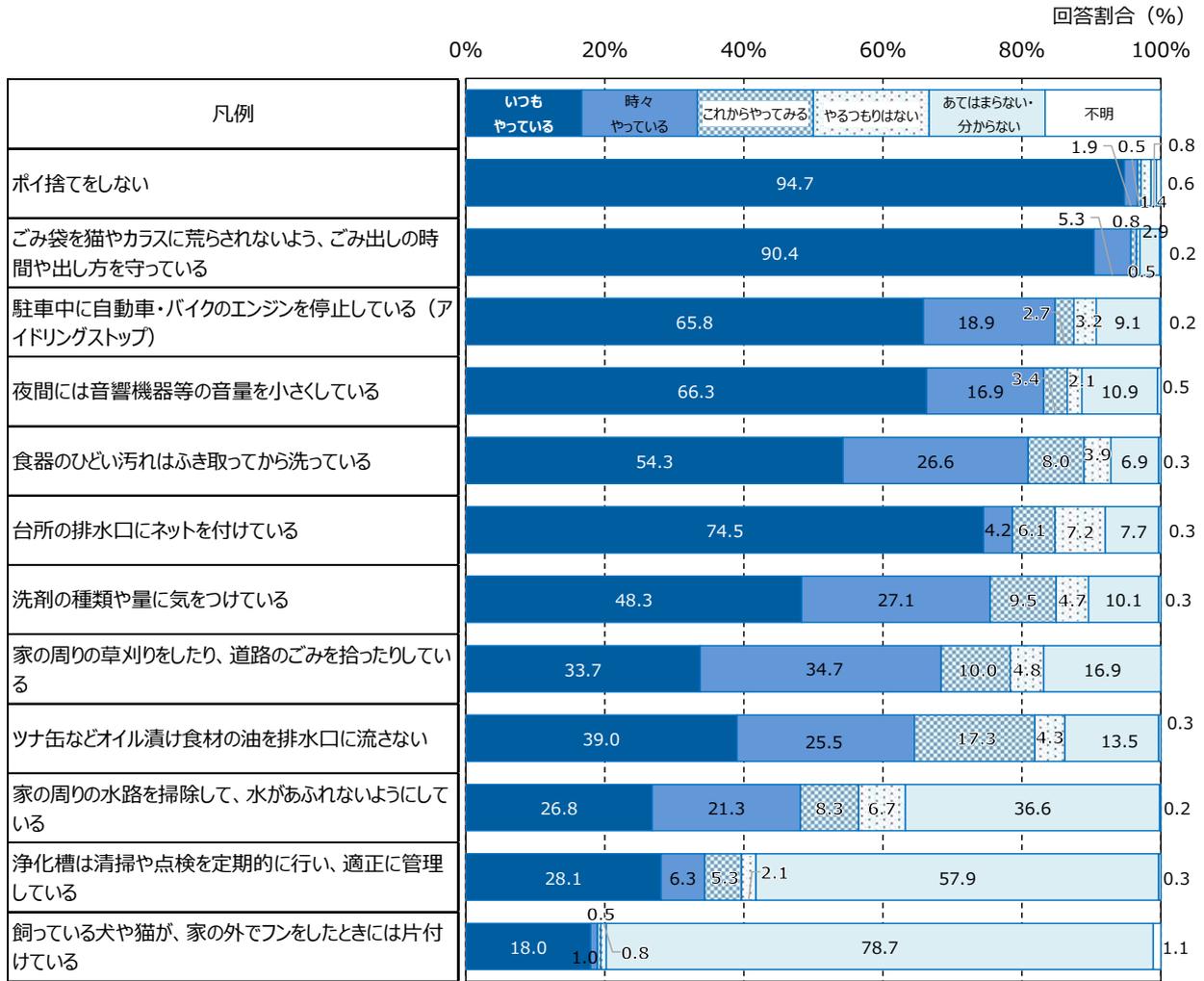
- ・「ごみの分別」は80%以上が「いつもやっている」と回答しており、日常的な行動として定着しています。
- ・「地域・学校の清掃活動への参加」は「いつもやっている」と回答した方が30%程度にとどまっています。地域美化・地域活動の啓発が課題です。

(2) 電気や燃料等の節約について



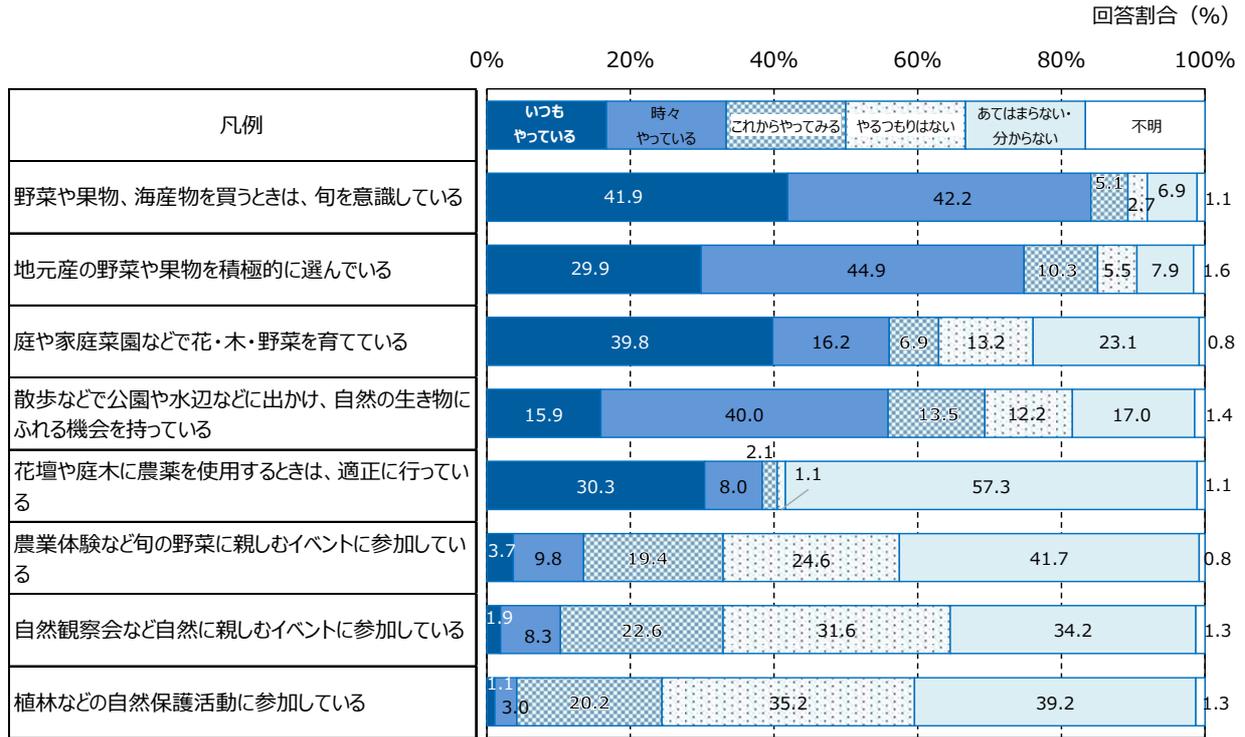
- ・「照明のこまめな消灯」や「見ていないテレビを消す」、「エアコンの温度設定の工夫」、「パソコン未使用時は電源を切る」は、70%近くが「いつもやっている」と回答しており、節電や省エネが日常の行動として定着しています。
- ・「徒歩や自転車、公共交通機関の利用」は実施率が低く、4人に1人が「やるつもりはない」と回答しており、ライフスタイルや地域の交通環境が影響していると考えられます。
- ・「風呂の残り湯の再利用」や「雨水の利用による節水」、「再エネ比率の高い電力会社の選択」は、「いつもやっている」と回答した方が10~20%程度と低い割合にとどまっています。取組に必要な設備や手間、認知度が低いことが原因と考えられ、雨水タンクや下水道接続時に既設浄化槽を雨水貯留槽へ転用する際の補助金制度、再エネ比率の高い電力の啓発が課題です。

(3) 近隣や排水への配慮について



- ・「ポイ捨てをしない」や「ごみ出しの時間や方法を守る」は、90%以上が「いつもやっている」と回答しており、マナーとして定着しています。
- ・「浄化槽の清掃や点検」や「ペットのフンの片付け」の「いつもやっている」と回答した方は全体の20～30%程度ですが、「あてはまらない・分からない」の回答（家に浄化槽がない、犬や猫がいない人の回答）を除くと、80%以上の人が実施しています。

(4) 自然との関わりについて



- ・「旬の食材を意識して買う」や「地元産の農産物を選ぶ」は、70%以上が「いつもやっている」「時々やっている」と回答しており、多くの人が日常生活の中で季節を意識していることがうかがえます。これらの行動は、地域の農地・自然環境の保全につながります。
- ・「農業体験イベントへの参加」や「自然観察会などの自然に親しむイベントへの参加」、「植林などの自然保護活動への参加」など、イベント参加は「いつもやっている」「時々やっている」と回答した方が10~20%程度にとどまっています。理想とするまちに近づくための土台としての「環境学習・環境行動」の機会増加・啓発が課題です。

3. 【問1】 令和元年度と令和7年度の実行度の比較

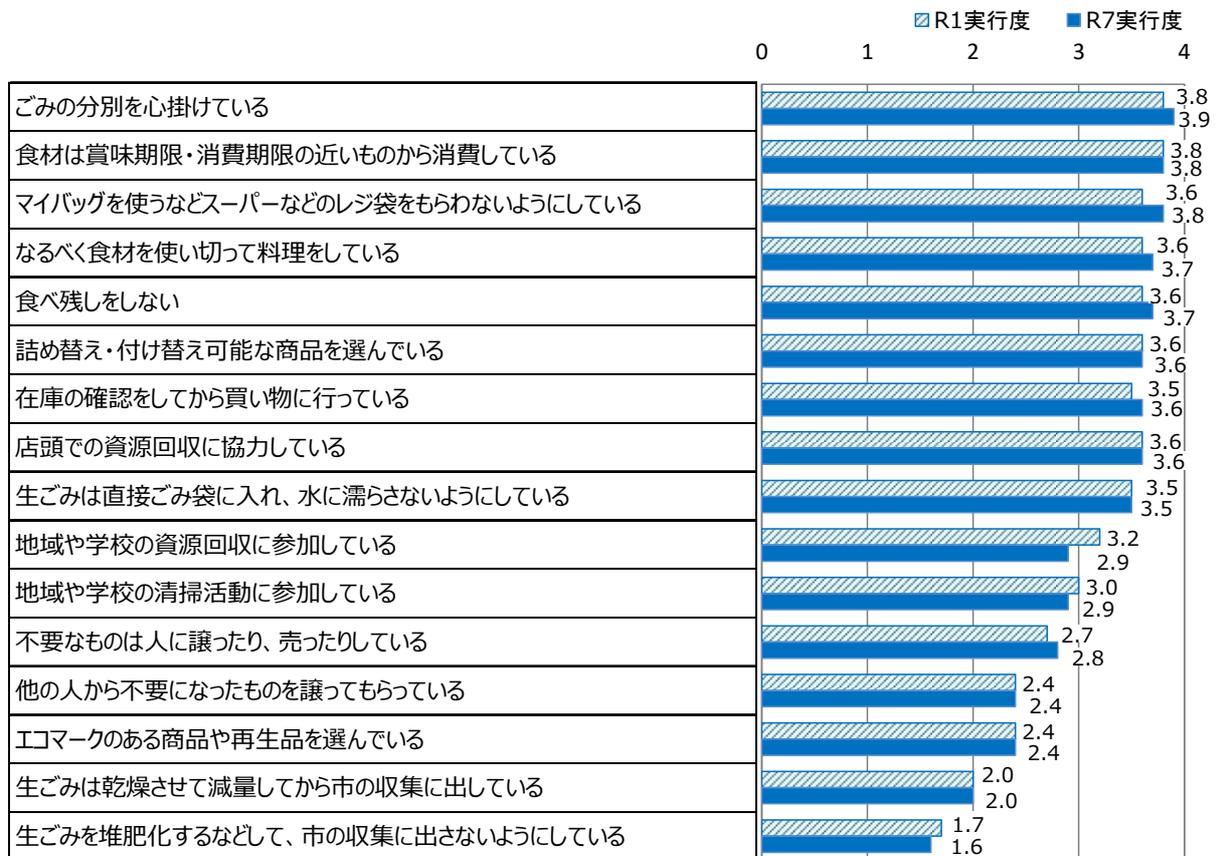
各項目の取組度合いを得点化し、「実行度」として算出しました。

- ・「いつもやっている」 =4点
- ・「時々やっている」 =3点
- ・「これからやってみる」 =2点
- ・「やるつもりはない」 =1点

$$\text{実行度} = \{ (\text{「いつもやっている」の回答数}) \times 4 + (\text{「時々やっている」の回答数}) \times 3 + (\text{「これからやってみる」の回答数}) \times 2 + (\text{「やるつもりはない」の回答数}) \times 1 \} \div \{ \text{回収数} - (\text{「あてはまらない・分からない」の回答数}) - \text{不明数} \}$$

※実行度は3以上あれば、多くの市民が「やっている」とみなすことができます。

(1) 買い物とごみについて



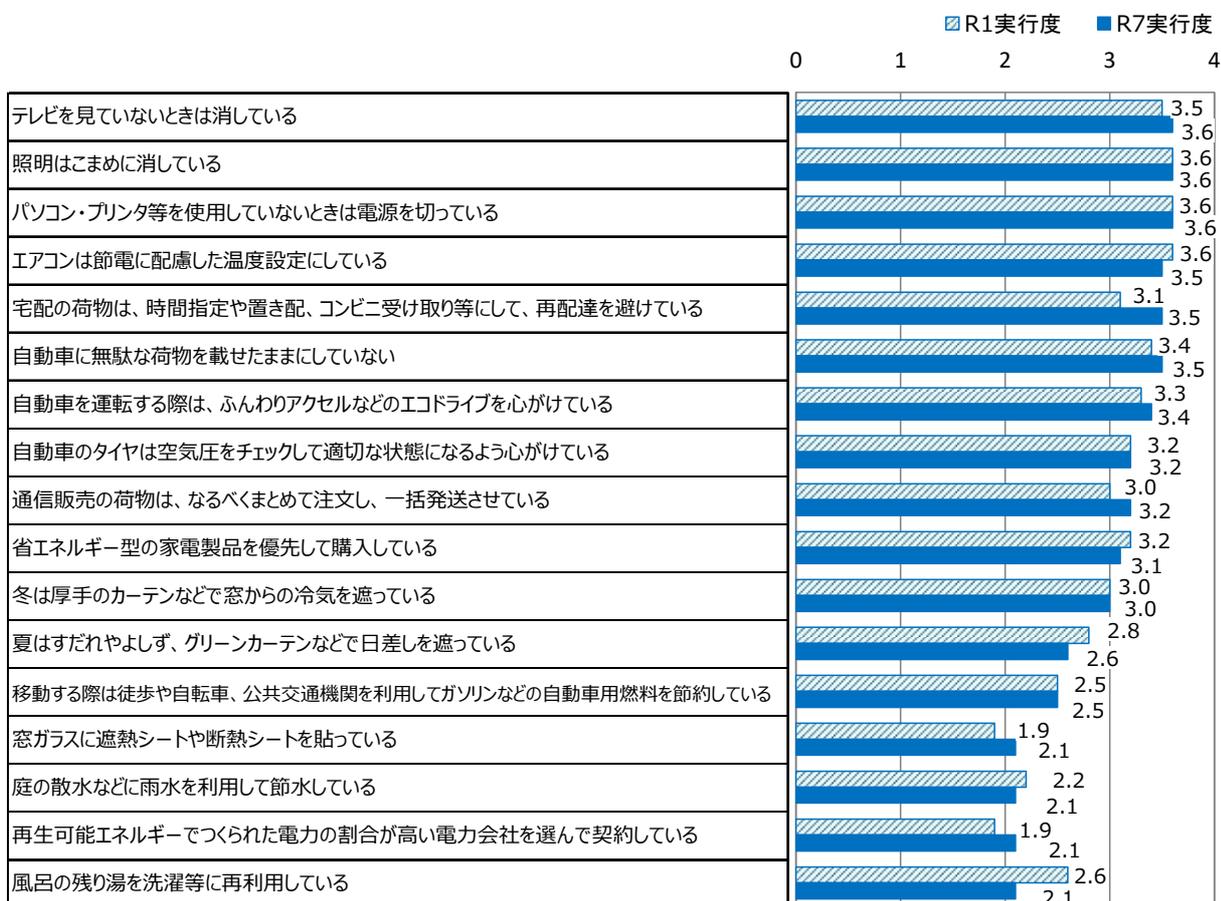
(改善された点)

- ・ 16 の設問のうち 6 つの実行度が上がり、7 つが横ばいでした。買い物とごみへの配慮について、市民の実行度は全体的に上がっています。
- ・ 「食材の使い切り」、「食べ残しをしない」、「在庫確認してから買い物」の実行度は上がっています。食品ロスの削減意識が上昇しています。
- ・ 「マイバッグ・レジ袋」、「買い物前の在庫確認」も実行度が上がっています。包装ごみの削減意識が上昇しています。

(改善されなかった点)

- ・ 「生ごみの堆肥化」、「地域・学校の資源回収」の実行度は下がっています。リサイクルの啓発が課題です。
- ・ 「地域・学校の清掃」、「地域・学校の資源回収」の実行度は下がっています。機会の減少の影響も考えられますが、協働の項目の実行度を高めることが課題です。

(2) 電気や燃料等の節約について



(改善された点)

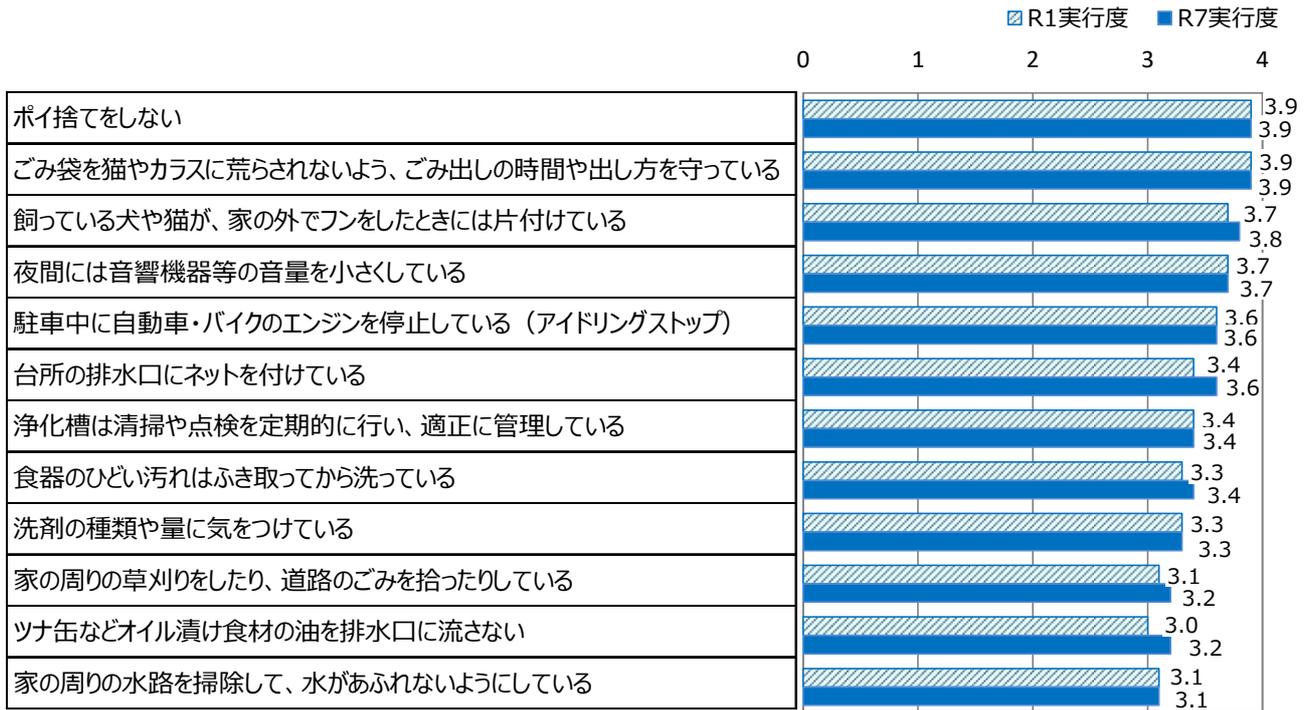
- ・ 17 の設問のうち 7 つの実行度が上がり、5 つの実行度が横ばいでした。近隣や排水への配慮について、市民の実行度が全体的に上がっています。
- ・ 特に実行度が上がったのは、宅配の受け取りで 0.4 ポイント上昇しました。

- ・実行度が低い設問では、「窓ガラスに遮熱シートや断熱シートを貼る」と「再生可能エネルギー電力の選択」が0.2ポイント上昇しました。普及啓発により更に上昇することが期待されます。

(改善されなかった点)

- ・「雨水や風呂の残り湯の再利用」の実行度は低く、更に下がっています。取組に設備が必要なこと、手間がかかること、認知度が低いことが原因と考えられます。雨水タンクや下水道接続時に既設浄化槽を雨水貯留槽へ転用する際の補助金制度の啓発が課題です。

(3) 近隣や排水への配慮について



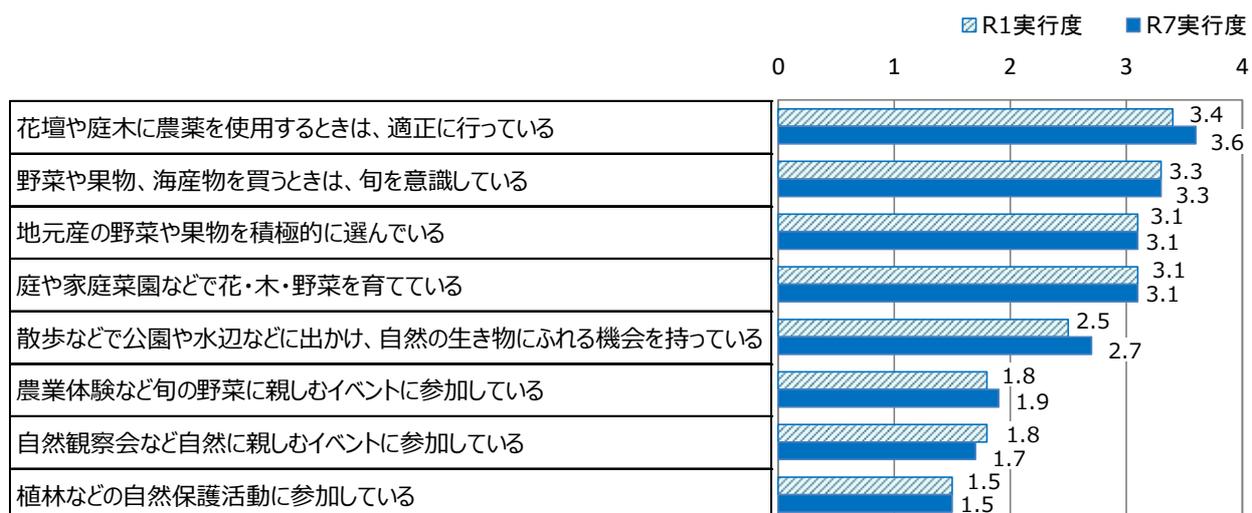
(改善された点)

- ・12 の設問のうち 5 つの実行度が上がり、7 つの実行度が横ばいでした。近隣や排水への配慮について、市民の実行度が全体的に上がっています。

(改善されなかった点)

- ・「家の周りの水路掃除」は、改善が見られませんでした。温暖化による豪雨が近年増加している状況に適應するため、水があふれないようにする水路掃除の改善が課題です。

(4) 自然との関わりについて



(改善された点)

- ・8つの設問のうち3つの実行度が上がり、4つの実行度が横ばいでした。自然との関わりについて、市民の実行度は全体的に上がっています。

(改善されなかった点)

- ・「自然観察会などの自然に親しむイベントへの参加」は実行度が下がっています。イベントの機会増加・啓発が課題です。

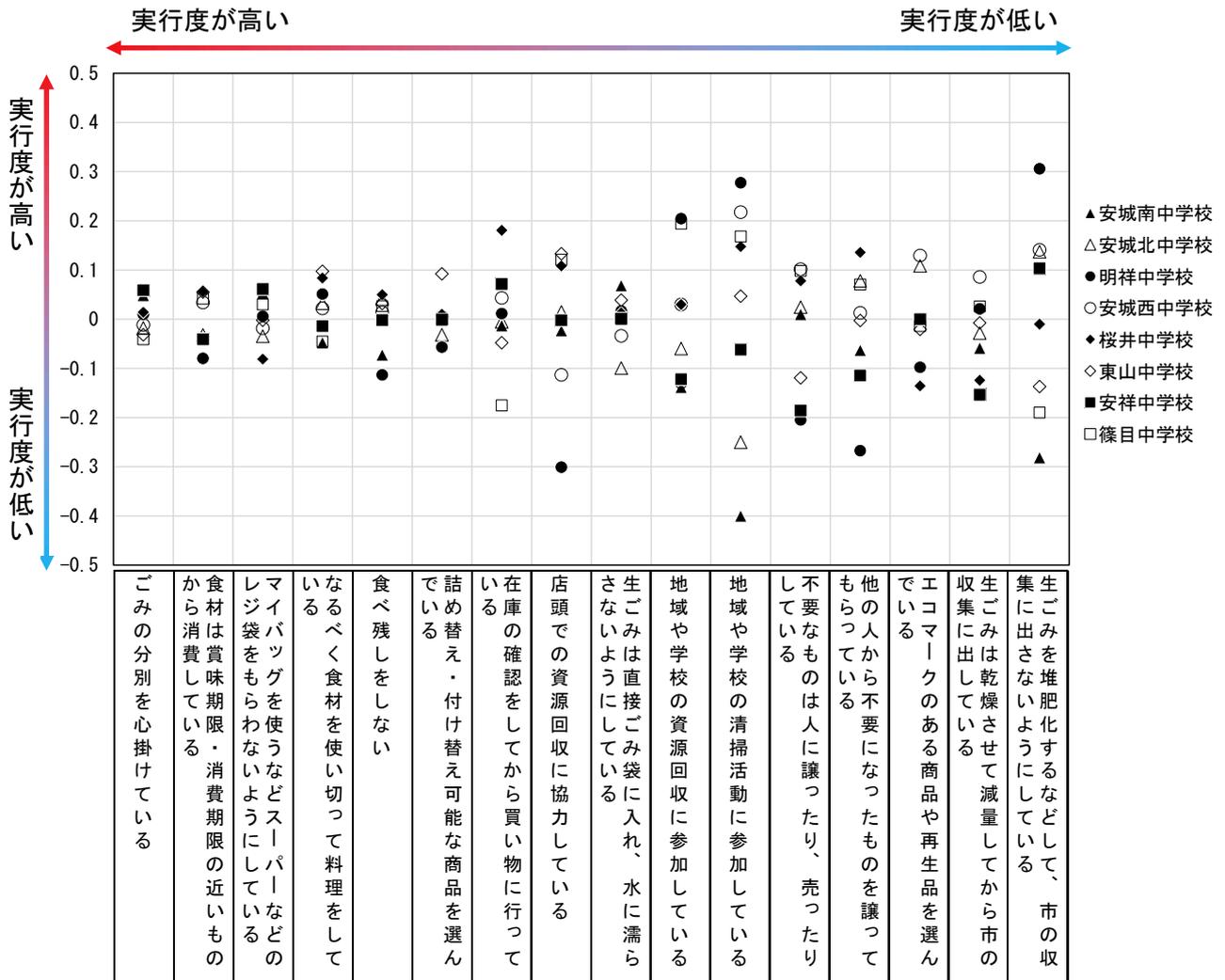
4. 【問1】 令和7年度の地域別実行度

実行度を中学校区別に求め、市全体の実行度と比較しました。

市全体を0とし、プラスになるほど市全体より実行度が高く、マイナスになるほど市全体より実行度が低いことを示します。

回答は左から、市全体の実行度の高い順に示しています。

(1) 買い物とごみについて



◇実行度が高い項目は、地域間のばらつきが小さい傾向があります。

(地域間でばらつきが大きい項目)

- ・「地域・学校の清掃や資源回収への参加」など、集団で行う環境活動で差が大きく表れています。これは地域ごとの推進状況や参加意欲の違いが関係していると考えられます。

(地域間でばらつきが小さい項目)

- ・「ごみの分別」や「マイバッグの使用」といった個人の生活習慣に関わる行動は、どの地域でも比較的均一に実践されており、地域間の差はほとんどありません。

(中学校区ごとの特徴)

下表は、各中学校区の実行度の平均値と中央値を整理したものです。

	安城南 中学校	安城北 中学校	明祥 中学校	安城西 中学校	桜井 中学校	東山 中学校	安祥 中学校	篠目 中学校
平均値	-0.07	-0.01	-0.01	0.04	0.03	0.00	-0.03	0.02
中央値	-0.04	-0.01	0.01	0.03	0.04	0.00	0.00	0.03

- ・安城西中学校区、桜井中学校区、篠目中学校区は、実行度の平均値と中央値が共に高くなっていました。特に「地域・学校の清掃」、「地域・学校の資源回収」、リユースに係る「不要になったものの譲渡・売買」といった協働の行動の項目が高い傾向にありました。
- ・安城南中学校区は、実行度の平均値と中央値が共に低くなっていました。「地域・学校の清掃」、「地域・学校の資源回収」といった協働の行動の項目が低い傾向にありました。

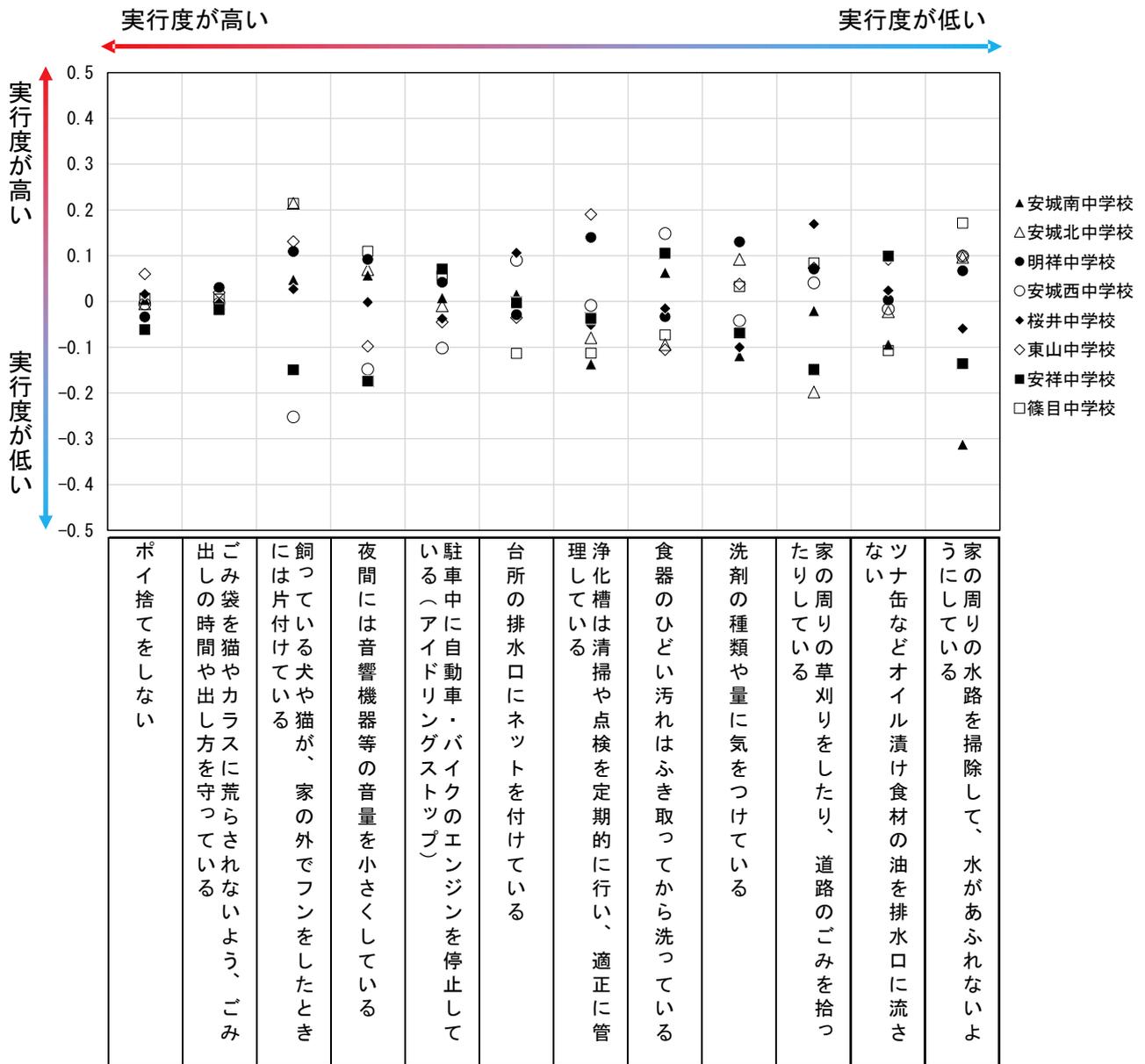
(中学校区ごとの特徴)

下表は、各中学校区の実行度の平均値と中央値を整理したものです。

	安城南 中学校	安城北 中学校	明祥 中学校	安城西 中学校	桜井 中学校	東山 中学校	安祥 中学校	篠目 中学校
平均値	-0.04	-0.03	0.09	-0.07	-0.11	0.07	-0.04	0.07
中央値	0.00	-0.06	0.08	-0.07	-0.10	0.07	-0.07	0.06

- ・明祥中学校区、東山中学校区、篠目中学校区は、実行度の平均値と中央値が共に高くなっていました。特に「雨水の利用による節水」、「夏のすだれやグリーンカーテンの使用」、「冬に厚手のカーテンで冷気を遮断」は、共通して高い傾向がありました。
- ・桜井中学校区、安城西中学校区、安祥中学校区、安城北中学校区は、実行度の平均値と中央値が共に低くなっていました。共通して実行度が低い項目はありませんでした。

(3) 近隣や排水への配慮について



◇実行度が高い項目は、地域間のばらつきが小さい傾向があります。

(地域間でばらつきが大きい項目)

- ・「ペットのフンの片付け」や「浄化槽の清掃や点検」、「家の周りの水路掃除」など、地域ごとの環境意識や生活環境の違いが反映されています。地域差が明確に表れています。
- ・排水への配慮は、ばらつきがやや大きく、実行度が低い傾向があります。

(地域間でばらつきが小さい項目)

- ・「ポイ捨てをしない」、「ごみ出しの時間や方法を守る」、「駐車中のアイドリングストップ」など、基本的なマナーや環境配慮行動はどの地域でもほぼ均一に実践されています。
- ・近隣への配慮は、ばらつきが小さく、実行度が高い傾向があります。

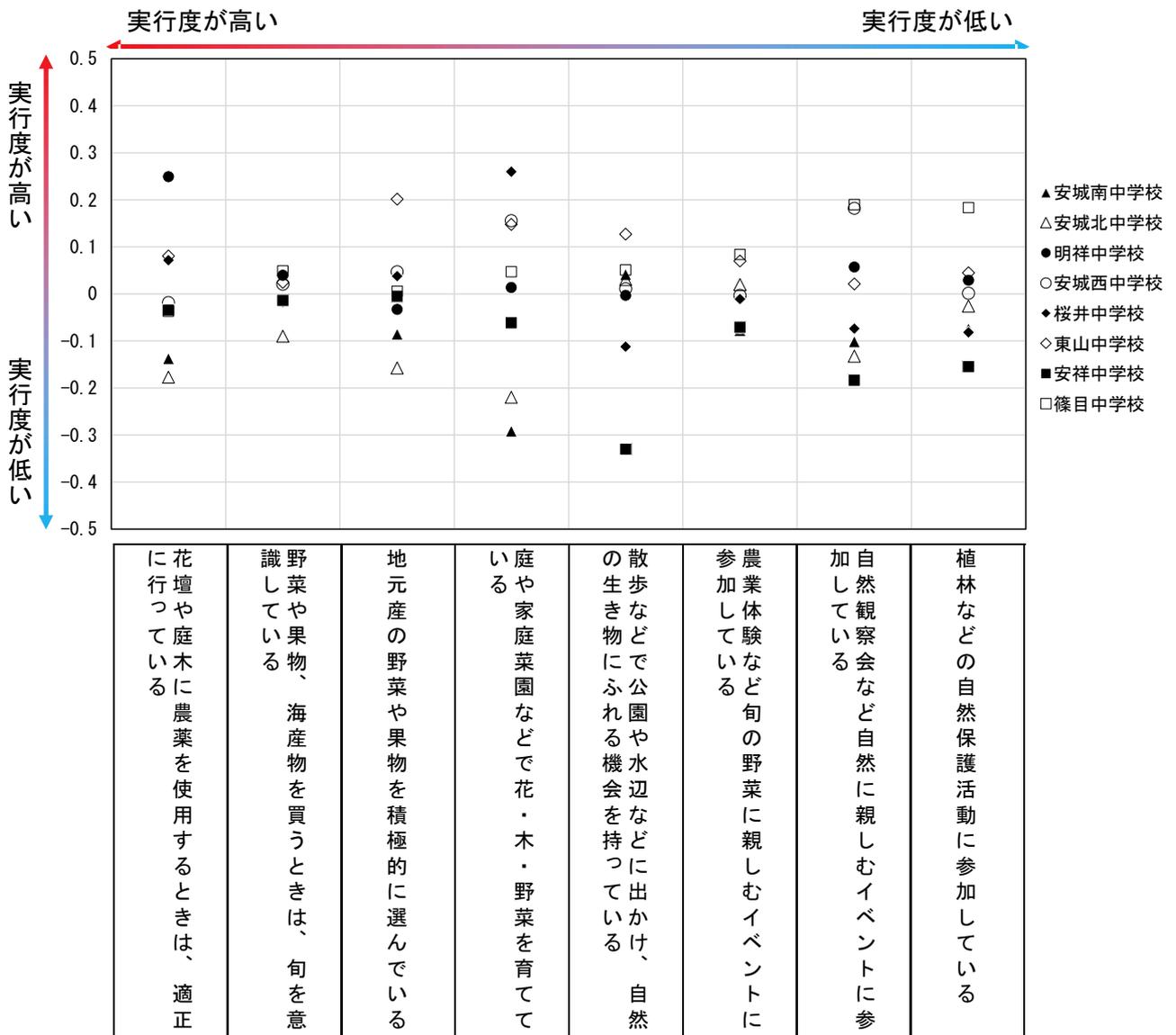
(中学校区ごとの特徴)

下表は、各中学校区の実行度の平均値と中央値を整理したものです。

	安城南 中学校	安城北 中学校	明祥 中学校	安城西 中学校	桜井 中学校	東山 中学校	安祥 中学校	篠目 中学校
平均値	-0.04	0.00	0.05	-0.02	0.01	0.03	-0.04	0.02
中央値	0.00	-0.01	0.05	-0.01	0.00	0.05	-0.05	0.02

- ・明祥中学校区、東山中学校区、篠目中学校区は、実行度の平均値と中央値が共に高くなっていました。「ペットのフンの片付け」、「家の周りの草刈り、ごみ拾い」、「家の周りの水路掃除」は共通して高い傾向がありました。
- ・安祥中学校区、安城西中学校区は実行度の平均値と中央値が共に低くなっていました。「ペットのフンの片付け」、「夜間の音量への配慮」は共通して低い傾向がありました。
- ・明祥中学校区や篠目中学校区は、実行度の高い項目が多く、特に「ペットのフンの片付け」や「夜間の音量への配慮」で市全体より高い傾向があります。
- ・安城南中学校区や安祥中学校区は、実行度の低い項目が多く、特に「家の周りの水路掃除」や「浄化槽の清掃や点検」で市全体より低い傾向があります。

(4) 自然との関わりについて



◇ 実行度と地域に関連は認められません。

- ・「旬の食材を買う」、「地元産食材を買う」、「旬の野菜に親しむイベントへの参加」など、食に関連する項目は、地域間でのばらつきが小さい傾向がありました。
- ・生きものや身近な自然に関連した生物多様性の項目で、地域差がありました。

(中学校区ごとの特徴)

下表は、各中学校区の実行度の平均値と中央値を整理したものです。

	安城南 中学校	安城北 中学校	明祥 中学校	安城西 中学校	桜井 中学校	東山 中学校	安祥 中学校	篠目 中学校
平均値	-0.09	-0.09	0.04	0.05	0.01	0.09	-0.11	0.07
中央値	-0.08	-0.11	0.02	0.02	-0.01	0.08	-0.07	0.05

- ・「自然との関わりについて」は、前述した「買い物とごみについて」、「電気や燃料等の節約について」、「近隣や排水への配慮について」と比べて、中学校区ごとの差が最も大きく現れました。
- ・明祥中学校区、安城西中学校区、東山中学校区、篠目中学校区は実行度の平均値と中央値が共に高くなっていました。ほとんどの項目の実行度が高くなっていました。
- ・安城南中学校区、安城北中学校区、安祥中学校区は実行度の平均値と中央値が共に低くなっていました。ほとんどの項目の実行度が低くなっていました。

5. 【問1】 令和7年度の年代別実行度

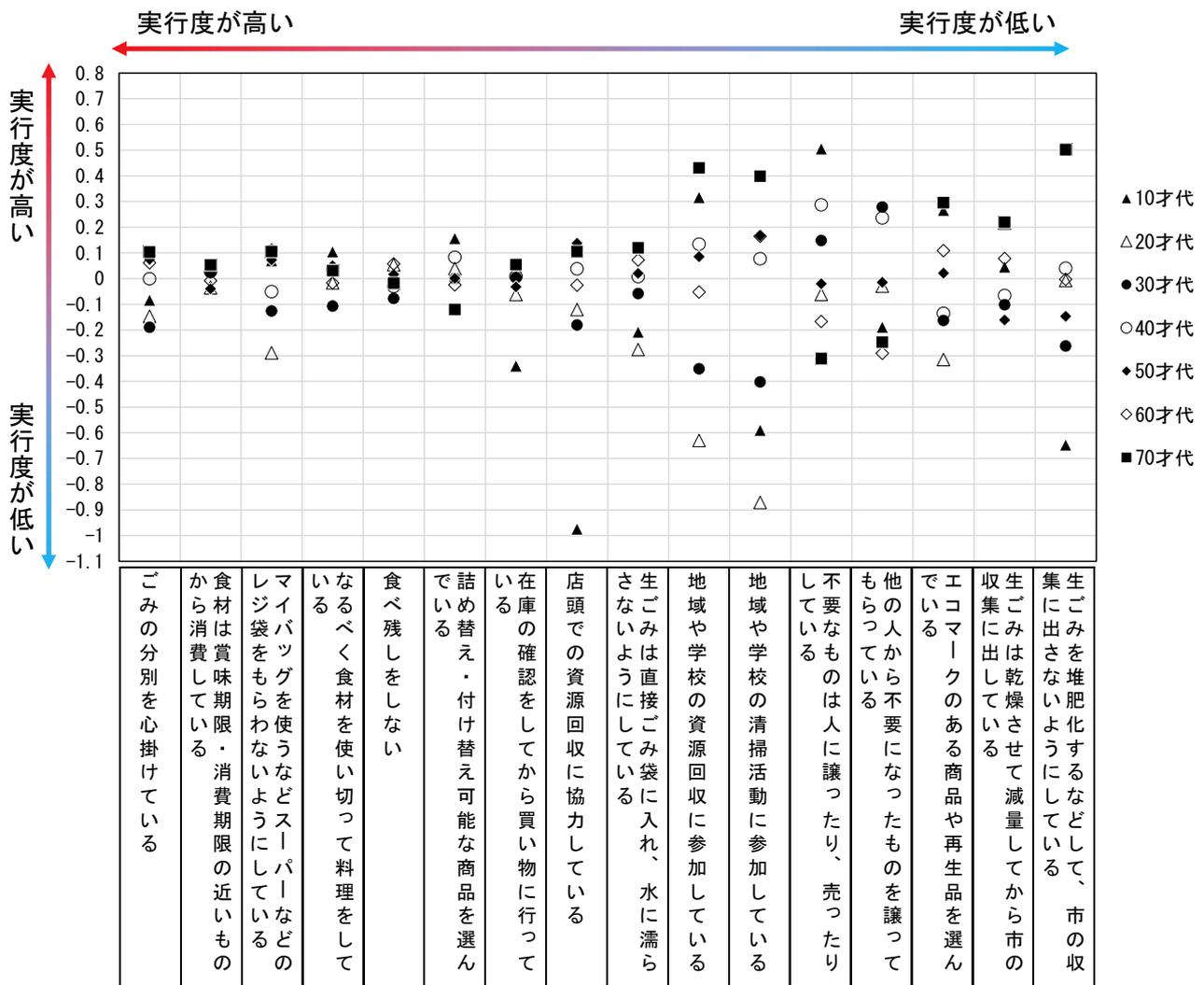
実行度を年代別に求め、市全体の実行度と比較しました。

市全体を0とし、プラスになるほど市全体より実行度が高く、マイナスになるほど市全体より実行度が低いことを示します。

回答は左から、市全体の実行度の高い順に示しています。

なお10才代は回答者数が他の年齢より圧倒的に少ないことから、参考値とします。

(1) 買い物とごみについて



◇実行度が高い項目は、年代別のばらつきが小さい傾向があります。

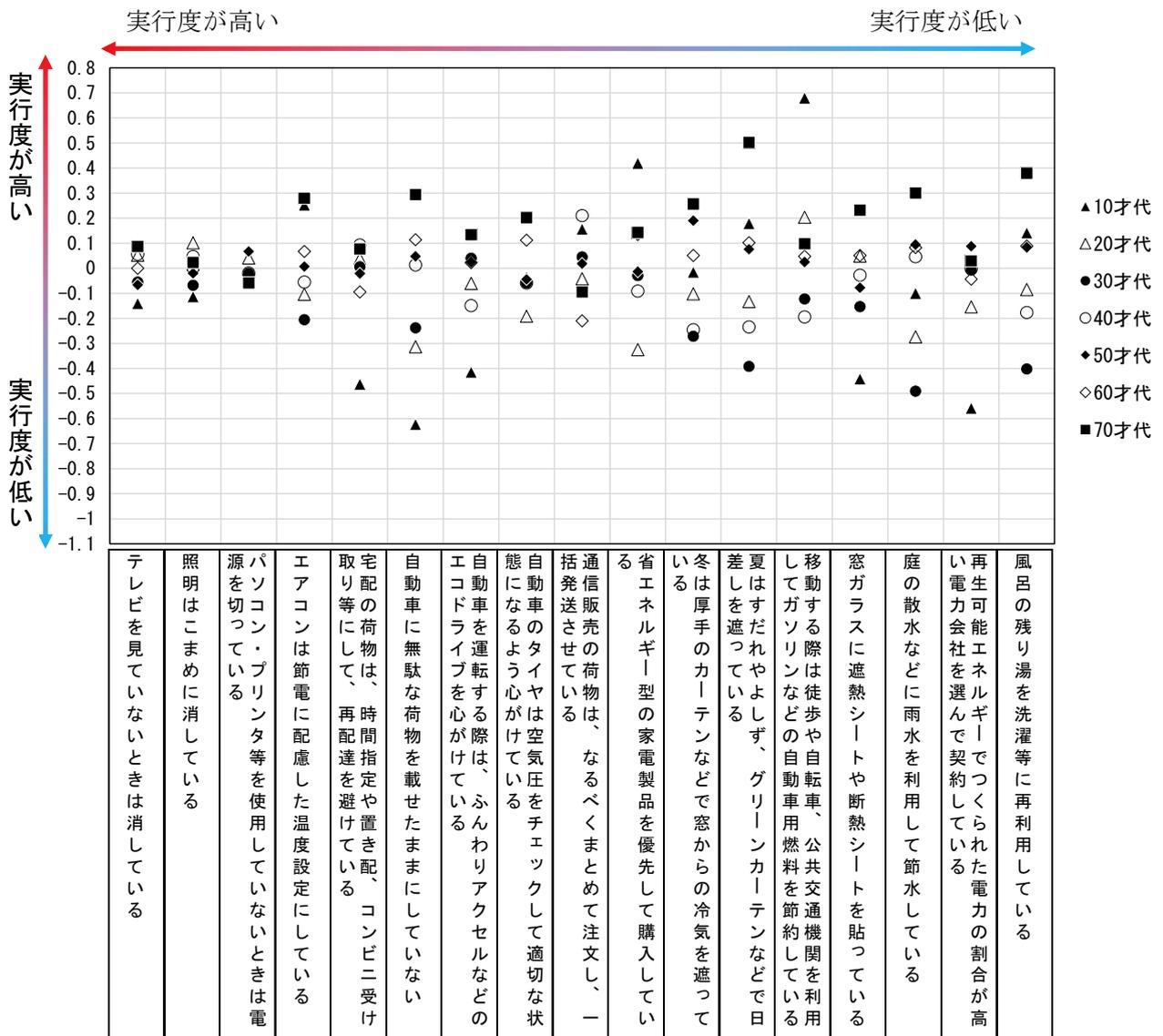
(年代間でばらつきが大きい項目)

- ・「地域・学校の資源回収への参加」、「地域・学校の清掃への参加」は、年代別の差が明確に現れました。地域との関わりについての関心や機会が、10～30才代で少なく、年齢が上がるにつれて多くなる傾向があります。

(年代間でばらつきが小さい項目)

- ・「賞味・消費期限の近いものから使う」、「食材の使い切り」、「食べ残しをしない」は、年代別の差が、非常に小さい結果となりました。毎日の食に関する行動は、非常によく取り組まれています。

(2) 電気や燃料等の節約について



◇実行度が高い項目は、年代別のばらつきが小さい傾向があります。

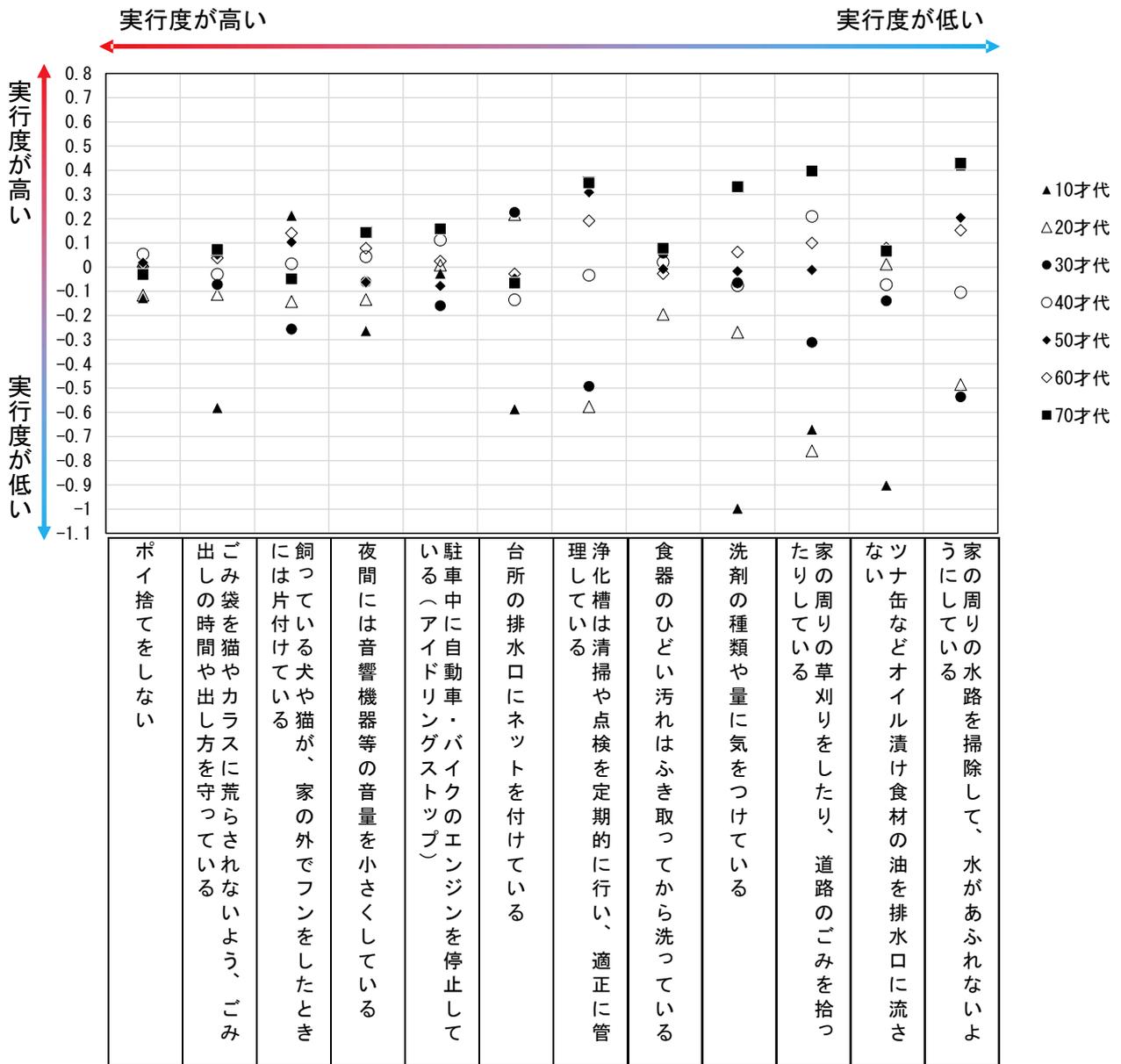
(年代間でばらつきが大きい項目)

- ・「夏のすだれやグリーンカーテンの使用」、「風呂の残り湯の再利用」は、50才代で低く、20才代と40才代がやや低い傾向があります。
- ・「エコドライブを心がける」、「タイヤ空気圧を適正に保つ」、「車に不要な荷物を載せない」といった車の運転に関する項目は、10~20才代の実行度が低い傾向があります。

(年代間でばらつきが少ない項目)

- ・「見ていないテレビを消す」や「照明のこまめな消灯」、「パソコン未使用時は電源を切る」など、日常の節電行動は、すべての年代でよく実行されています。

(3) 近隣や排水への配慮について



◇実行度が高い項目は、年代別のばらつきが小さい傾向があります。

◇全体として、10～20才代の実行度は低く、60～70才代の実行度は高い傾向があります。

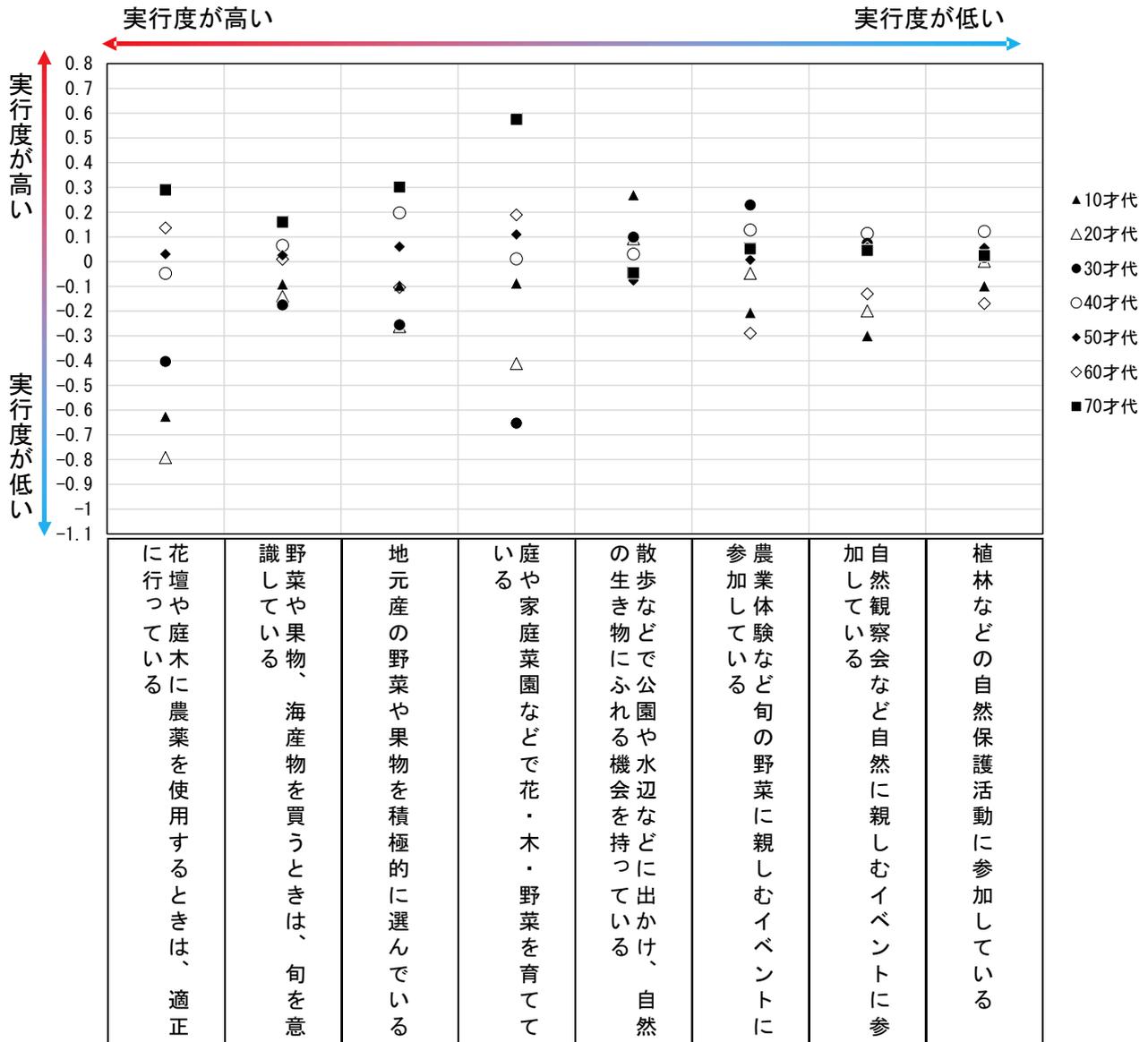
(年代間でばらつきが大きい項目)

- ・「浄化槽の清掃や点検」、「洗剤の種類・量への配慮」、「家の周りの草刈り」、「家の周りの水路掃除」といった行動は、10～30才代で低く、60～70才代で高い傾向があります。年代により家庭内の役割や住居形態に違いがあることが考えられます。

(年代間でばらつきが少ない項目)

- ・「ポイ捨てをしない」、「アイドリングストップ」など、日常の近隣への配慮は、すべての年代でよく実行されています。

(4) 自然との関わりについて



◇実行度が高い項目は、年代別のばらつきが大きい傾向があります。

◇実行度が高い4項目は、50才代以上の実行度が高く、実行度が低い3項目（イベント参加型）は、10～20才代と60才代の実行度がやや低い傾向があります。

(年代間でばらつきが大きい項目)

- ・「農業を適正に使う」、「地元産の農産物を選ぶ」、「家庭菜園などでの植物の栽培」は、10～30才代で低く、60～70才代で高い傾向があります。

(年代間でばらつきが少ない項目)

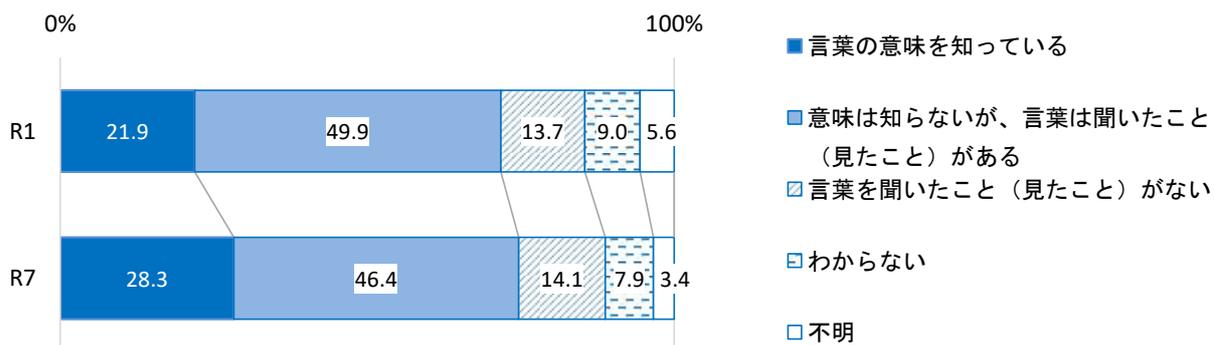
- ・「旬の食材を意識して買う」、「散歩などで自然とふれ合う」、「植林などの自然保護活動への参加」は、年代間の大きな差がありません。

6. 【問2】 集計結果

問2. 《生物多様性の認知度について》

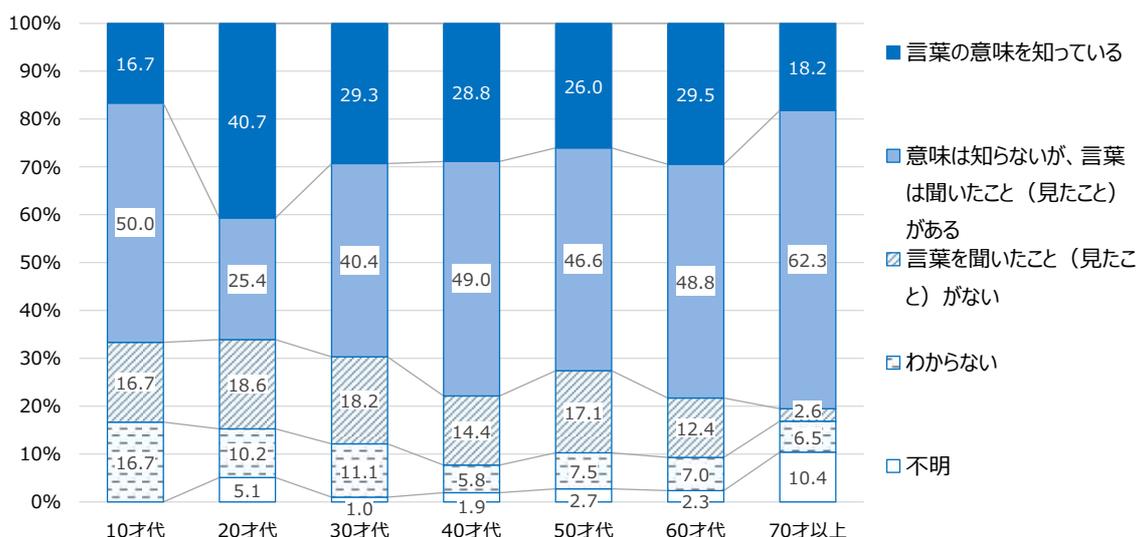
あなたは、「生物多様性」という言葉について、どの程度ご存知ですか。次の1～4の中から、最もあてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。(1. 言葉の意味を知っている 2. 意味はわからないが、言葉は聞いたこと(見たこと)がある 3. 言葉を聞いたこと(見たこと)がない 4. わからない)

【令和元年度と令和7年度の比較】



- ・「言葉の意味を知っている」と回答した市民は6.4%増加し、「意味は知らないが、言葉は聞いたこと(見たこと)がある」と合わせて認知度が向上しました。
- ・「意味は知らないが聞いたことがある」と回答した人が最も多いことから、内容の理解が課題と考えられます。

【令和7年度の年代別の比較】



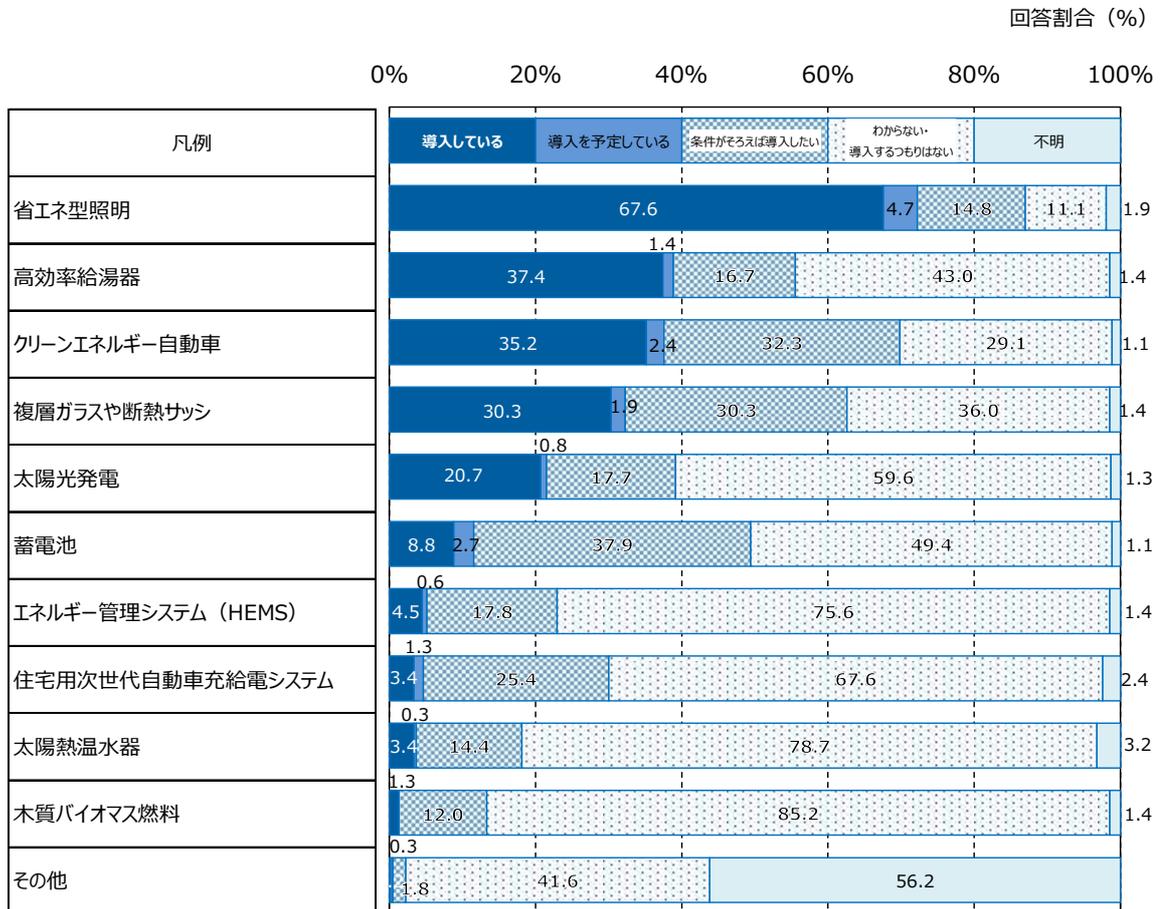
※10才代は回答者数が他の年齢より圧倒的に少ないことから、参考値とします。

- ・20才代は「言葉の意味を知っている」の割合が最も高く、学校教育の効果が現れていると考えられます。

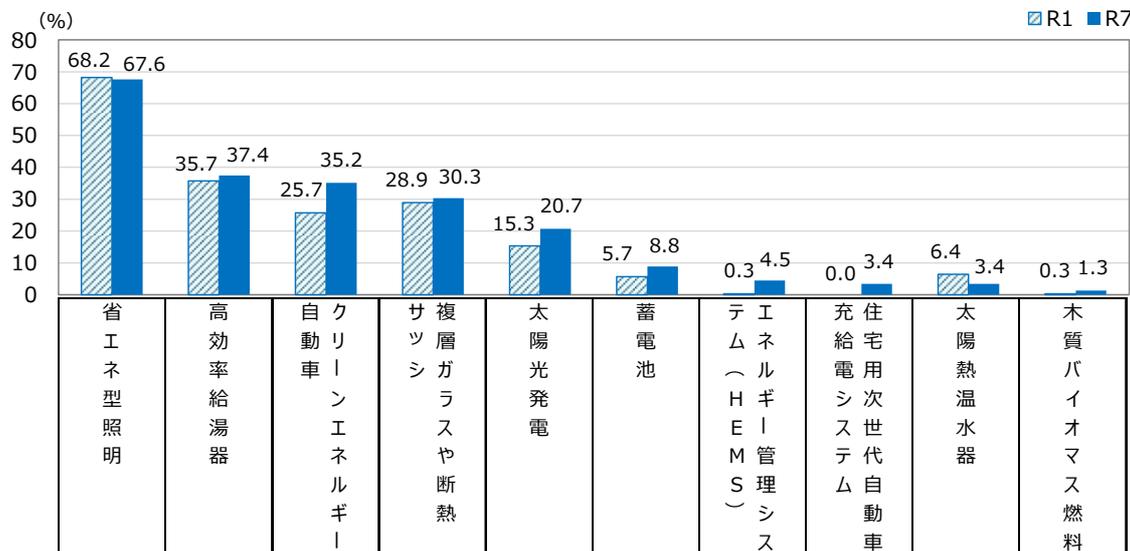
7. 【問3】 集計結果

問3. ≪ご自宅でお持ちの設備について≫

ご自宅の設備について、それぞれ右の1~4のあてはまる番号に○をつけてください。(1. 導入している 2. 導入を予定している 3. 条件がそろえば導入しない 4. わからない・導入するつもりはない)



【導入割合の比較 (令和元年度と令和7年度の比較)】



※令和元年度調査では「住宅用次世代自動車充電システム」に関する設問は含まれていません。

(改善された点)

- ・クリーンエネルギー自動車、太陽光発電、蓄電池、エネルギー管理システム（HEMS）の導入が増加しました。背景として、環境意識や防災意識の高まり、補助金制度の充実、電気・ガソリン価格の高騰が考えられます。

(改善されなかった点)

- ・省エネ照明や高効率給湯器など、令和元年に普及していた設備の導入率に大きな変化は見られませんでした。
- ・太陽熱温水器の導入割合は減少しました。補助金制度により他の設備が選ばれたと考えられます。

8. 【問4】 市に対するご意見等

問4. ≪市に対するご意見等≫

安城市の環境施策について、意見がありましたらご記入ください。

(1) 【要望・改善意見】

市民から寄せられた、現状の課題や改善を求める声を、第2次安城市環境基本計画の4つの柱（①生活環境保全、②自然・都市共生、③資源循環、④地球温暖化）ごとにまとめました。

① 生活環境保全

◇ 悪臭

- ・ 自宅でのゴミ焼却、野焼きによる煙や臭いに困っている。

◇ 下水道の整備

- ・ 下水が未整備なエリアで生活排水が溜まって困っている。
- ・ 下水道の全市整備を急いでほしい。

◇ 交通・道路・歩行者の安全

- ・ 自転車専用道路・通行帯の整備をもっと進めてほしい。
- ・ 歩道が狭くて危険。植栽が歩道に張り出している。
- ・ 滑らかな自転車道が整備された場所が少ない。
- ・ 横断歩道・一時停止のラインが消えている場所が多い。

◇ 公共交通・移動の利便性

- ・ 乗り継ぎなしでスーパー・施設に行けるルートにしてほしい。
- ・ あんくるバスの時間を延長してほしい（夜間運行など）。
- ・ あんくるバスを年齢制限なしの無料化してほしい。

◇ 防犯・地域の安全

- ・ 街灯が足りない（特に駅・歩道・新しい施設周辺）。
- ・ 防犯カメラを設置してほしい（不法投棄・空き缶泥棒・暗所対策）。
- ・ 路上喫煙・ポイ捨ての禁止区域を拡大してほしい（看板などで明確に）。

◇ 空き家・野生動物への懸念

- ・ 空き家が荒れており、猫が住み着いている。景観も悪化。
- ・ 野良猫問題への対応をしてほしい。
- ・ 近所にキツネが出没しており、心配している。

◇ その他（施設・商業などの暮らしの質）

- ・ JR安城駅・南安城駅周辺がきれいではない。市外からの印象が悪い。
- ・ 商業施設が深夜営業しないため不便。
- ・ スーパーや地元直売所（JA産直）の地域展開をしてほしい。
- ・ 農業の振興策の検討（特に米の高騰・減反政策への反発）。
- ・ ゴミ拾いや環境ボランティアの情報提供をしてほしい。
- ・ 行政の縦割り対応ではなく、連携による住民目線の施策をしてほしい。

②自然・都市共生

◇ 緑化・景観整備・自然との共生

- ・ 歩道や街中にもっと木や花を植えてほしい。
- ・ 花や木に名前（名札）をつけて学べるようにしてほしい。
- ・ 花と木のある大きな公園や散歩コースがほしい（例：碧南レールパークのような環境）。
- ・ 街路樹は伐採ではなく植樹も進めてほしい。

◇ 公園・遊歩道・緑地の管理

- ・ 雑草や空き地の放置（特に所有者不明土地）が治安・景観上問題。
- ・ 草刈りの頻度を増やしてほしい（猿渡川など）。
- ・ 公園・池・遊歩道の掃除を行き届かせてほしい。

◇ 子どもの遊び環境・公共空間

- ・ 公共施設に木陰などを設け、温暖化対策をしてほしい。
- ・ 公園は広いが子どもに合わないつくりなので、工夫してほしい。

③資源循環

◇ ごみ出しルール・分別・回収の利便性

- ・ 粗大ごみの回収に来てほしい。
- ・ リサイクルプラザへ直接持ち込めるようにしてほしい。
- ・ 夜間でもゴミを出せるようにしてほしい。
- ・ ペットボトルをゴミ回収日に回収してほしい。
- ・ プラごみ・ペットボトルの分別が難しい。もっと簡素化してほしい。
- ・ リサイクル Box や回収場所をもっと増やしてほしい（公民館、スーパーなど）。
- ・ 雑誌や古紙を紙袋でなく、コンテナ式で回収できるようにしてほしい。
- ・ ゴミ袋に個人番号を記入し、不明なゴミを当番が持ち帰るという町内ルールが理不尽。
- ・ 指定ゴミ袋の価格を下げしてほしい。

◇ ごみステーション

- ・ 空き缶泥棒、ガラス被害への対策（防犯カメラ・パトロール）。
- ・ ゴミステーションの掃除を市が委託し、高齢者雇用と連携してほしい。
- ・ 神社前にゴミステーションがあるのは景観的に不適切。

◇ 不法投棄

- ・ ゴミの不法投棄が発生しないようにしてほしい。

◇ 生ごみ処理・コンポスト関連

- ・ 生ごみ処理機やコンポストの補助金制度を拡充、マンションでも導入しやすくしてほしい。
- ・ LFC コンポスト（ネット購入）も補助対象にほしい。
- ・ 生ごみ処理機・堆肥化設備への支援を拡大してほしい。

◇ 循環型社会への仕組み提案

- ・ 地域単位でのミニコンポストの設置をしてほしい（中学校区ごと）。
- ・ 堆肥を農家へ提供し、地域循環の仕組みをつくってほしい。
- ・ 生ごみ処理家電を全戸配布してほしい。

④地球温暖化

◇ 再生可能エネルギー・省エネ支援

- ・ 太陽光発電・蓄電池・エコボイラーなどの補助を拡充してほしい。
- ・ 再エネ賦課金の廃止をしてほしい。
- ・ 省エネ設備の導入補助のPRが不足している。広報で積極的に周知をしてほしい。
- ・ 指定ゴミ袋をもう少し安くしてほしい。

◇ その他

- ・ 子ども向けの環境イベントや体験（農業、エコ、リサイクル）を充実してほしい。
- ・ 市役所や公的施設の省エネ・EV・LED化の取り組みの強化してほしい。
- ・ アプリ連携やポイント制度など、ICTを活用した取り組みをしてほしい。

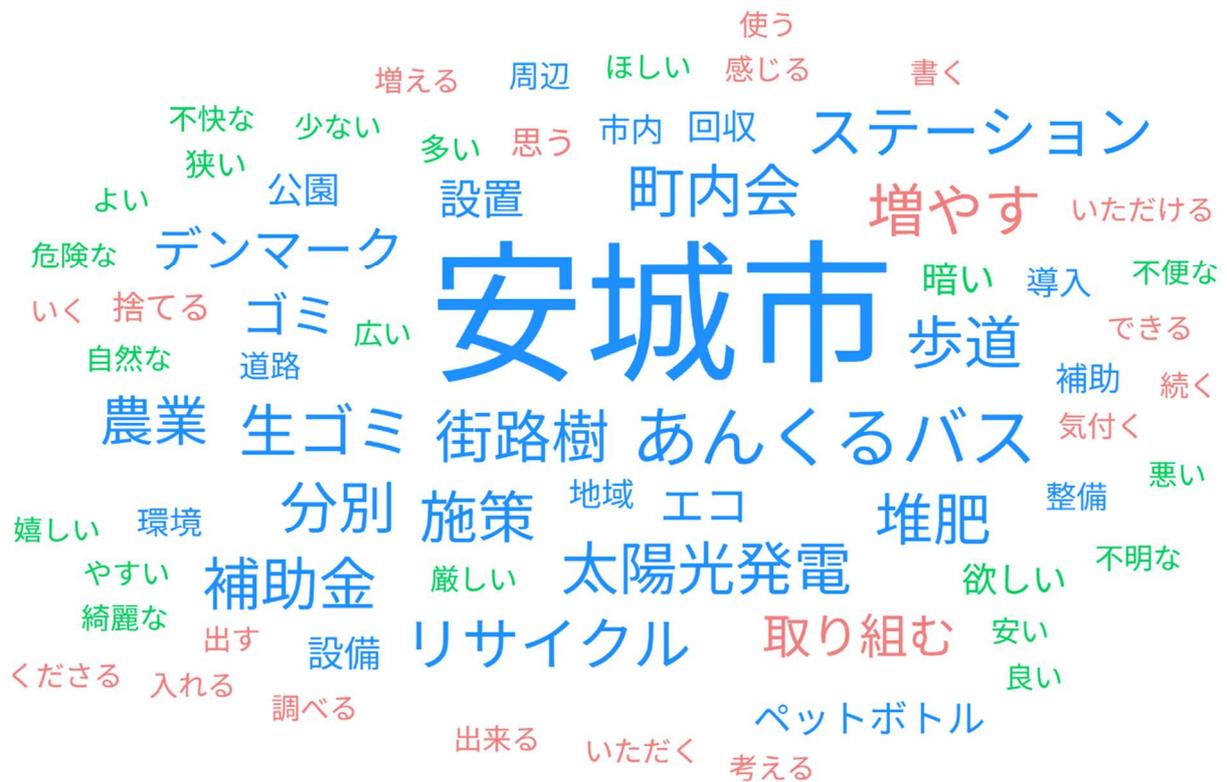
(2) 良いところ・好きな点の意見

安城市の環境に対する「良いところ」「好きな点」をまとめました。

- ・ 商店街に季節ごとの飾り付けがされていて、歩くだけでも楽しい気持ちになります。
- ・ 子どもが安心して遊べる公園が多くてありがたいです。
- ・ 地元の人がいさつしてくれるのが嬉しいです。温かみを感じます。
- ・ お祭りやイベントが地域で開催されていて、住民同士のつながりが感じられます。
- ・ ゴミがあまり落ちていなくて、街全体がきれいに保たれていると思います。
- ・ 子育て支援が充実していて、子どもを育てやすい環境だと思います。
- ・ 図書館や文化施設が利用しやすく、知的な時間を過ごせるのが良いです。街路樹がきれいに整備されていて、季節ごとに違う景色を楽しめるのが嬉しいです。
- ・ 歴史ある建物が残っていて、町歩きが楽しいです。
- ・ 公共施設の職員さんが親切で、安心感があります。
- ・ 地元の飲食店に個性があって、おいしいお店を探すのが楽しいです。
- ・ 季節ごとの行事に子どもが参加できて、良い思い出になります。
- ・ 高齢の方も元気に外出されていて、町に活気があると感じます。
- ・ 子どもたちの元気な声が聞こえて、町が明るく感じられます。
- ・ 街中に花壇や花が多くて、散歩していると心が癒されます。
- ・ 四季を感じられる場所が多く、自然の移ろいを楽しめるのが魅力です。
- ・ 朝の散歩で鳥のさえずりが聞こえるのが心地よくて好きです。
- ・ 散歩中にきれいな夕焼けや星空が見える場所があって癒されます。
- ・ 川や山など自然とすぐにふれあえる環境があるのありがたいです。
- ・ 空気がきれいで、深呼吸するとリフレッシュできます。
- ・ ペットの散歩をしている人が多くて、動物好きには嬉しい環境です。
- ・ 地域の方が花や野菜を育てていて、道端がにぎやかで楽しいです。

(3) 意見のテキストマイニング

市民から寄せられた声を、テキストマイニングという手法でイメージ化しました。



※この図は、アンケート回答の文章から、テキストマイニングという手法で分析した結果です。出現回数の多い単語は大きく表示され、関連性の高い言葉が近くに配置されています。なお、単語の色は青が名詞、赤が動詞、緑が形容詞・形容動詞を表しています。